

# 国民審査を受ける最高裁判所裁判官 (投票用紙記載順)

<p>×</p>	<p>ふるた ゆうき <b>古田 佑紀</b> (63歳) 元・最高検次長検事 第2小法廷 2005年8月就任</p>		<p>【経歴】1969年検事任官後、東京はじめ各地の地検で勤務。また、法務省刑事局で刑事法制の立法作業に従事。93年大臣官房審議官、99年法務省刑事局長、2002年最高検刑事部長、2003年最高検次長検事。退官後の2005年同志社大学法科大学院教授（捜査法）。法務省刑事局長・検察官として盗聴法（通信傍受法）導入や予防拘禁法制定など人権抑圧の旗振りを行う。</p>
<p>×</p>	<p>なかがわ りょうじ <b>中川 了滋</b> (65歳) 元・日弁連副会長 第2小法廷 2005年1月就任</p>		<p>【経歴】1964年弁護士登録（第一東京弁護士会）、86年第一東弁副会長・日弁連常務理事、88年日弁連機構改革委副委員長、92年同弁護士推薦委副委員長、97年第一東弁会長・日弁連副会長。 【関与した裁判】入管当局の外国人強制退去で日本政府が外国政府に犯罪歴照会した外交文書の公開命じた下級審判決変更に関与（05.7.22）、「これ以上の在留はダメ」という通知を受け取る前の段階での外国人不法残留罪の成立を容認する判決（05.4.21）。</p>
<p>×</p>	<p>ほりごめ ゆきお <b>堀籠 幸男</b> (65歳) 元・大阪高裁長官 第3小法廷 2005年5月就任</p>		<p>【経歴】1967年判事補任官後、東京地裁、最高裁刑事局などで勤務。76年最高裁調査官、79年同人事局任用課長兼調査課長。84年内閣法制局参事官、90年同総務主幹。94年最高裁人事局長、98年同事務次長、2000年同事務総長、02年大阪高裁長官。司法官僚エリートの道を歩む。また、刑事裁判官として薬物取り締まりの中心を担う。裁判員制度で人数は少数のほうがよいとの見解。</p>
<p>×</p>	<p>いまい いさお <b>今井 功</b> (65歳) 元・東京高裁長官 第2小法廷 2004年12月就任</p>		<p>【経歴】1964年判事補任官後、東京地・家裁、最高裁総務局など勤務。73年最高裁調査官、76年同民事局第二課長、80年同局第一課長兼第三課長、82年東京地裁判事、87年東京高裁事務局長、90年最高裁民事局長兼行政局長、94年前橋地裁所長、98年最高裁首席調査官、2002年仙台高裁長官、02年東京高裁長官。 【関与した裁判】入管当局の外国人強制退去で日本政府が外国政府に犯罪歴照会した外交文書の公開命じた下級審判決変更に関与（05.7.22）、台湾の元「従軍慰安婦」訴訟上告棄却判決（05.2.24）など</p>
<p>×</p>	<p>つの おさむ <b>津野 修</b> (66歳) 元・内閣法制局長官 第2小法廷 2004年2月就任</p>		<p>【経歴】1962年大蔵省入省、67年福岡県・行橋税務署長。71年日本貿易振興会フランクフルト事務所駐在員。78年内閣法制局参事官、83年大蔵省主税局税制第三課長、85年同福岡財務支局長。86年内閣法制局第三部長、92年同第一部長、96年内閣法制次長、99年内閣法制局長官。2003弁護士登録。 【関与した裁判】在日永住韓国人の鄭香均さんの都管理職任用訴訟大法廷判決（05.1.26）で下級審の良心的判決を覆す判決に関与、韓国の元「従軍慰安婦」訴訟上告棄却（04.11.29）、77歳の女性被告人に死刑確定判決（04.11.19）など。</p>
<p>×</p>	<p>さいぐち ちはる <b>才口 千晴</b> (67歳) 元・東京弁護士会副会長 第1小法廷 2004年1月就任</p>		<p>【経歴】1966年弁護士登録（東京弁護士会）、84年東京家裁調停委員・参与員、89年東弁副会長、94年中央大学法学部客員講師・教授、95年司法試験考査委員（破産法）、97年日弁連倒産法制検討委委員長、98年法制審倒産法部会委員、99年最高裁民事規則制定諮問委員長、2003年ダイエー企業再生ファンドアドバイザー。 【関与した裁判】在日永住韓国人の鄭香均さんの都管理職任用訴訟大法廷判決（05.1.26）やもんじゅ判決（05.5.30）で下級審の良心的判決を覆す判決に関与、死刑確定判決（05.1.27）など。</p>